

船舶事故等調査報告書

平成23年3月31日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010門第176号	
事故等種類	衝突	
発生日時	平成22年11月23日 10時16分ごろ	
発生場所	関門港田野浦区 福岡県北九州市部埼灯台から真方位304° 1,910m付近 (概位 北緯33° 58.1′ 東経131° 00.3′)	
事故等調査の経過	平成22年11月24日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等</p> <p>A コンテナ船 ^{ユニブルーデント}UNI PRUDENT（パナマ共和国）、17,887トン 9202194（IMO番号）、GAINING ENTERPRISE S.A.</p> <p>B コンテナ船 ^{スカイデューク}SKY DUKE（大韓民国）、3,992トン 9154751（IMO番号）、CK LINE CO., LTD</p>	
乗組員等に関する情報	<p>A 船長A、免状不明、台湾国籍</p> <p>B 船長B、韓国免状一級、大韓民国籍</p>	
死傷者等	なし	
損傷	<p>A 右舷船尾外板擦過傷</p> <p>B 右舷船尾手すり曲損、右舷船尾損傷</p>	
事故等の経過	<p>A船は、船長ほか21人が乗り組み、関門港田野浦区^{たちのおら}太刀浦ふ頭7号岸壁に左舷着けで係留中、B船は、船長ほか14人が乗り組み、太刀浦ふ頭8号岸壁から離岸作業中、平成22年11月23日10時16分ごろ、B船の右舷船尾の手すりがA船の右舷船尾と接触した。</p> <p>その後、B船は、機関を前進にかけて左に回頭中、B船の右舷船尾部が8号岸壁に接触した。</p> <p>B船は、出航を中止して太刀浦ふ頭6号岸壁に着岸した。</p> <p>A船は、荷役終了後、博多港に向け出航した。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 北、風速 約8～10m/s、視界 良好</p> <p>海象：海上平穏、潮汐 上げ潮の末期、潮流 西流約8ノット（早鞆瀬戸付近）</p>	
その他の事項	<p>B船は、左舷錨を投入して錨鎖4節半（約125m）を伸出し、8号岸壁に右舷着けで係留していた。</p> <p>A船は、B船の船尾方の7号岸壁に左舷着けで係留していた。</p> <p>A船船尾とB船船尾との間隔は、約50mで、A船は、長さ181.7m、幅28m、深さ13.9mであった。</p> <p>B船は、錨を巻きながら、機関を使用し、離岸作業を行っていた。</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>あり</p> <p>B船は、関門港田野浦区において離岸作業中、船長Bが風や潮流を考慮した適切な操船を行わなか</p>

		ったため、船尾方に係留中のA船と衝突し、さらに、機関を前進にかけて左に回頭して岸壁に接触したものと考えられる。
原因	本事故は、B船が、関門港田野浦区において離岸作業中、船長Bが風や潮流を考慮した適切な操船を行わなかったため、B船の船尾方に係留中のA船に衝突し、さらに、機関を前進にかけて左に回頭して岸壁に接触したことにより発生したものと考えられる。	